

東洋交通労働組合

〒115-0051
東京都北区浮間5-4-51
TEL03(5970)9304
<http://www.toyo-kotsu-union.jp>

躍進

東洋交通労働組合

発行/2022年 5月8日

編集/教宣部

47-8号

コロナ禍で労働条件改善回答！

解決一時金提示

妥結・調印へ審議

2022年4月8日(金)

行われた第4回団体交渉

は、執行部全員と木塚所

長が出席し、「2022春

闘要求」に対し、木塚所長

が回答書を読み上げ、菊

池委員長に手渡されまし

た。

菊池委員長は「これまで頑張った者が報われるこ

とを方針に交渉してき

た。ベースアップを継続要

求していくが、今後賞与

の基準の見直しもすべき

である。」と述べました。

また木塚所長が、雇用

保険料引き上げにより、

会社負担が増える懸念を

示す一方で、菊池委員長

は「保険料の負担が増え

るのは乗務員も同様で、賃金を上げていかない

と、今後ますます厳しい

生活状況になるだろ

う。」と反論し、加えて申

請中の運賃改定につい

て、「日本交通は迎車料

金を200円に下げて、実

質1割程度の運賃値上げを

見込んだ申請をしている

が、現在の迎車料金は品

質サービスも含めたもの

と認識している。サービ

スを安売りする必要はない

い。」と説明しました。執

行部としては、一度回答

書を持ち帰り、中央委員

会にて妥結審議を行う事

としました。

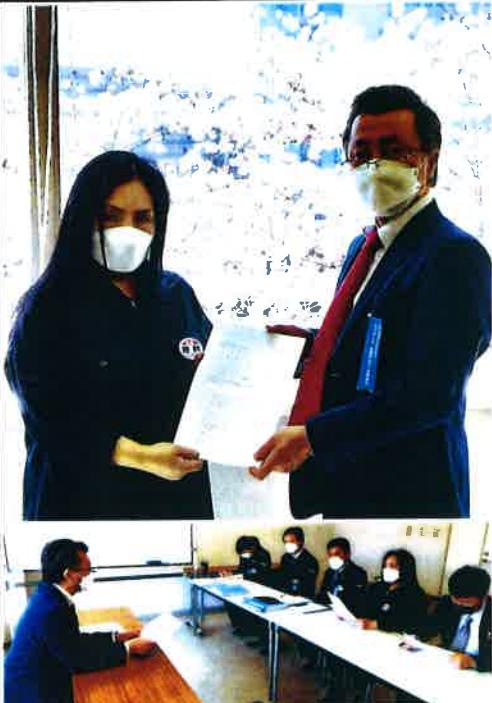
配分方法昨年同様 全会一致で妥結！

2022年4月24日(日)に、本社棟201会議室において、第2回中央委員会を開催しました。議長に山田賢和氏、書記に米川昂氏が任命され、中央委員は出席17名、欠席1名、委任状1通で、組合規約により、中央委員会が成立している」とが宣言されました。

回答書の質疑応答

● 第3回団体交渉で、「賞与の実車キロ配分を6,750キロ×6,000キロにする」ことを経営側に提案しているが、どのような交渉経緯があり、感触としてはどうだったのか？

(5002鈴木氏)
(執)ひとまず期限を決め試してみては？と交渉に交渉を重ねたが、要求書提出当時、売上減少していたこともあり、最終的には頓挫した。しかし、頑張っている者に何かしら出したいたという考えが経営からも見受けられ、全体的な感触としては悪くなかった。経営にどうても、先の見えない不安定な状況であることを理解したい。今が改善時期ではないと判断したがこの先賞与基準は変更したいし手応えはあった。



菊池委員長の挨拶 人。我々東洋交通も、1時半当たり1、200円の賃金を200円に下げて、実質1割程度の運賃値上げを重ね、ぎりぎりまで協議をしてきました。結果、帰路の高速料金会社負担の追加と、条件付きではあるが専用乗り場入構権負担金の撤廃と、一昨年並みの回答が得られたため、不満は残りますが、誠実な回答と評価し、妥結提案に至りました。

「これまでずっと「コロナ禍により冷え込んだ情勢で、休業した人・事業者には補償がされて、現場で必死に働く乗務員には何もない」というのはおかしい」と声高に主張してきました。これは今年3月の厚労省・国交省への要請行動でも主張しています。

また、東京都の最低賃金が上がったとはいえ、全ての大手事業者がベースアップしたわけではありません

今回の中央委員会では、2022春闘妥結提案及び、解決一時金の配分方法についての審議がありまして。この場で決定したことには、30名に一人の代表として、他の組合員に説明できるようお願いします。

● ハッピー一年金については、今後も継続して協議する

● 第3回団体交渉で、「賞与の実車キロ配分を6,750キロ×6,000キロにする」ことを経営側に提案しているが、どのような交渉経緯があり、感触としてはどうだったのか？

(5002鈴木氏)
(執)ひとまず期限を決め試してみては？と交渉に交渉を重ねたが、要求書提出当時、売上減少していたこともあり、最終的には頓挫した。しかし、頑張っている者に何かしら出したいたという考えが経営からも見受けられ、全体的な感触としては悪くなかった。経営にどうても、先の見えない不安定な状況であることを理解したい。今が改善時期ではないと判断したがこの先賞与基準は変更したいし手応えはあった。

